

公共施設の見直しに係る実施計画（概要版）

施設名	上五島空港ターミナルビル
-----	--------------

担当課	まちづくり推進課
課長	竹中次郎

1. 施設の現状

本施設は、長崎・下五島と上五島を結ぶ空の港として利用者の便宜に供するため、昭和56年4月に開港された長崎県の施設である。しかしながら、利用者の減少により、平成18年4月定期路線が廃止された。現在は、民間飛行機や自衛隊機の離発着訓練等に利用されているものの、その利用頻度は低い状況である。空港ターミナルビルは、路線廃止とともに県より町が財産譲渡（平成18年4月）を受けた施設である。平成19年度、誘致企業用としてビル改築工事を9,893千円で施工したが、予定された企業を誘致できなかった。ビルとしての構内施設が、空港管理事務所、教室（2室）、職員室（1室）等が配置されている。

2. 見直しの方針

(1) 計画期間内（H26年度まで）

目標年度	見直し方針
	現状維持 (将来の方針を示す施設)

(2) 将来の方向性

見直し方針
県営空港維持を県と協議していく。

(3) 見直し内容

今後、世界遺産登録関連で観光客の増加が見込まれるため、交通体系の需要とそれに伴う空港の利用が予測し難い状況である。また、ターミナルビルの活用策を調査研究したうえで、空港の利用状況を見極めるためにも空港の県営維持を強く要望していく。

3. 施設運営コスト

(単位：千円、人)

年度	管理運営コスト		人員配置状況(人)				利用状況	
	金額	うち 人件費	正職員	嘱託員	臨時	委託	利用収入	利用者数
19	9,928	0	0	0	0	0	0	60件